

学校支援を積極的に進める

学校の教育活動を支えるPTA活動

知多市立旭北小学校PTA

1 はじめに

旭北小学校は、知多市の南西に位置し、オオタカが生息する自然豊かな小高い山の上に立地している。明治初期に開校し、令和4年には現在の場所への移転50周年を迎えた。学校の周りには民家が少なく、校区が広いため、遠方から登校している児童が多い。保護者や地域が学校教育活動に協力的であるため、安心して学校運営ができる地域である。

全校児童は495名、学級数は23学級（通常学級15特別支援学級8）の中規模校であるが、昨年度より児童数が50名程度減少したことに伴い、学級数も3学級減となった。来年度はさらに児童数の減少が続く見込みであり、学校規模は縮小の傾向にある。



【旭北小学校の校舎】

2 研究への取組

(1) 研究のねらい

本校のPTAは、「父母と教職員が協力して、家庭と学校社会における児童の健全な育成を図り、あわせて会員の研修と相互の親睦を図る」ことを目的として活動している。しかし、令和2年度から新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、PTA活動を中止したり、縮小したりせざるを得ない状況が続いてきた。保護者の間からも、子どもたちが学校でどんな生活をしているのか見えてこないという声も上がっていた。そこで、新型コロナウイルスに対する制限が緩和された今、学校と保護者の結びつきを強くし、子どもたちを育てる学習環境をPTA会員の支援によってより豊かなものとしていく活動に取り組むことにした。

(2) 学校支援活動の立案

6月のPTA全体会では、前年度までの活動でやってきたことや、学校がPTAに依頼したいことを整理し、新たにPTAが支援できることを考えた。委員からは「5、6年生のミシンの授業なら支援ができる」という積極的な意見が出てきた。話し合った内容は以下の通りである。

前年度までの活動	・ 図書修理・樹木の剪定・掲示物作成 ・ 通学路点検
教職員が依頼したいこと	・ 図書の受け入れ・運動会補助・苗植え
PTA役員からの提案	・ ミシンを使う授業の補助

3 実践活動の概要

(1) 学校図書館の充実

① 図書の修理

本校の図書館には1万冊を超える図書が配架されている。しかし、中にはページが取れたり、破れたりしている本がたくさんあった。特に、児童に人気がある本ほど著しく破損している状況だった。そこで、昨年度から図書の修理を図書部の活動として位置づけ、部員が破損部分の状態を確認し、1冊ずつ修理をしていった。



【図書の修理作業】

図書修理を経験したことがある部員はいないため、初めに担当教員から修理の仕方や必要な道具などの説明を受けた。実際にやってみると、部員同士和気あいあいとした雰囲気作業がどんどん進んでいった。作業日は、来校する負担を軽減するためPTA全体会や学校公開日などの会議や行事に合わせて設定した。当初100冊近くあった壊れた本も、再び配架されて子どもたちが利用している。

② 図書の受け入れ作業

本年度は新たに図書の受け入れ作業を行った。現在本校には図書事務職員が配置されていないため、年間300冊程度の新着図書の受け入れ作業は図書主任が1人で行っていた。そこで蔵書印を書籍に押し、受付日を記入する作業をPTA図書部員で行った。それにより例年より早く図書館に配架して児童に貸し出すことができた。

(2) 授業支援（6年生 家庭科 ミシンを使う授業の補助）

6年家庭科「思いを形にして生活を豊かに」では、ミシンを使ってトートバッグを制作する。児童は5年生でミシンを使った経験はあるものの、十数台のミシンを同時に使用するとなると、技術面や安全面について、担任一人では十分指導することが厳しい状況だった。この問題を克服するため、ミシンの使い方の補助員としての活動をPTAに依頼した。PTA委員に案内を出して支援者を募ったところ、5名の委員が集まり、全学級で児童の補助をすることができた。子どもたちにとっても「友達のお母さん」は、安心して教えてもらえる存在であり、ミシンを



【トートバッグ製作】

使って縫う方法や、失敗したときの対処の仕方を積極的に尋ねていた。また、ミシンを使っている間に起こるトラブルにも対応することができたので、担任にとってもたいへん心強かった。この活動は5年生の家庭科（3学期）でも行う予定である。

(3) 運動会

10月に行われた校内運動会では、PTAは3つの役割を担った。会場内の巡回と写真撮影、児童の競技補助である。

① 事前準備

9月のPTA全体会において、運動会の支援方法を話し合った。そこでは、委員同士で活発に意見を出し合い、会場内の巡回は、部会ごとに当番制で実施することが決まった。また、5、6年生の騎馬戦の競技補助は、1年生から4年生までの委員6人で行うことも話し合われた。写真撮影は、PTA新聞に掲載する写真を撮ることから、広報部が担当することにした。詳しい仕事内容については、学校から書面で伝達することとし、当日適宜本部に集合して詳細を確認したのち、活動することとなった。



【PTA全体会の様子】

② 当日の活動の様子

ア 会場内の巡回

前年度は、保護者席以外の場所で参観する人が相次ぎ、そのたびに場内アナウンスで呼びかけなければならなかった。しかし本年度は、PTA委員が黄色い腕章を着用し、個別に声をかけることで、みんながルールを守って気持ちよく参観していた。巡回した委員からは、会場の様子が本部に伝えられた。ビデオの三脚を置いたまま席を離れている人がいて、周りの人が迷惑しているという情報が本部に伝えられたときには、場内ア

PTAによる学校支援活動について
校内運動会 見回り活動

早くからおねがいします！

早いもので、運動会が近づいてきました。当日のPTA活動についてお知らせします。

【観戦エリア巡回】
①本部テントでPTAの腕章（黄色）を受け取ります。
・集合：担当の一つ前のプログラムのときに本部テントに来てください。
・名簿に○をつけ、腕章をもっていただきます。

巡回担当	
① 一斉体操	成人教養部
② 1、2年徒競走	成人教養部
③ 3年学年種目	保健福祉部
④ 5年徒競走	保健福祉部
⑤ 4年学年種目	生活安全部
⑥ 6年徒競走	生活安全部
⑦ 1年学年種目	図書部
⑧ 2年学年種目	図書部
⑨ 3年徒競走	生活安全部
⑩ 4年徒競走	生活安全部
⑪ 5、6年騎馬戦	生活安全部
⑫ 赤白対抗リレー	生活安全部

②仕事内容
・競技中に、観戦エリア以外に入る参観者に声をかけてください。
・観戦エリアは児童の控え席の後ろです。競技中のために児童がいない控え席や、本部周辺に注意してください。
③なごし学級の控え席には、同じ腕章をつけた保護者が児童に付き添っておりますので、ご加おきください。
④教員は、本部付近にいますので、お困りのことがありましたら、お知らせください。

【校内運動会活動内容】



【参観者に話しかける役員】

ナウンスで呼びかけて注意を促した。また、参観者から質問を受けたときには、学校からの回答をすぐに質問者に伝えることができた。P T A委員の会場巡回は、教職員の目が届かない部分を補う役割を果たしていた。

イ 競技補助

5、6年生は騎馬戦を行ったが、競技中の安全を見守るための教員の数には限りがあった。そこで、P T A委員が児童の近くで競技を見守り、騎馬が崩れたときに補助に入る体制をとった。実際には、危険な場面はなく、児童に手を貸すこともなかったが、見守る大人がたくさんいることで児童も教職員も安心して競技に臨むことができた。

ウ 写真撮影

P T A広報部は、保護者の目線で生き生きとした競技中の児童の写真を撮っていた。データは学校のSDカードに保存し、運動会の翌週には、P T A新聞に掲載する写真の選定作業を行った。

この校内運動会における学校支援の取組を通して、P T A委員が参観者と学校のパイプ役となったことは、大きな成果であった。黄色い腕章が目印となり、参観者が気付いたことをP T Aの委員に伝え、それを本部の教職員に伝達することで、さまざまな対応をすることができた。昨年度と比較しても、本部にP T A委員からの情報がたくさん集まり、会場内の様子がよく分かった。また、P T A委員は参観者としての視点ももっているので、「祖父母や小さい子どもが参観できるような椅子席があるとよい」というような次年度に向けての課題も見つかった。P T A委員は、運動会の運営を支えるという大きな役割を果たしていた。

4 おわりに

子どもたちが充実した学校生活を送るためには、学校と保護者の連携が欠かせない。本校では、花の植え替え作業や樹木の剪定作業、学校保健委員会への参加など、保護者が学校に足を運ぶ場面が昨年度よりも増えている。この機会に、学校と保護者の結びつきをさらに強くし、子どもたちの学習環境がより豊かなものとなるように、P T Aの学校支援活動を継続していきたい。



【騎馬戦を見守る委員】



【写真を撮る広報部員】